

2000年1月1日～2017年12月31日の間に 当科において肝胆膵手術の治療を受けられた方へ

「Frailty and Sarcopenia in HPB Cancer Surgery; a Multicenter Study Comparing Eastern and Western Cohorts」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 肝・胆・膵科 教授 八木 孝仁
研究分担者 岡山大学病院 肝・胆・膵科 講師 榎田 祐三
岡山大学病院 臓器移植医療センター 助教 杭瀬 崇
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 高木 弘誠

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

サルコペニア(Sarcopenia)とは、全身性の骨格筋量および骨格筋力の低下を特徴とする症候群であり、近年サルコペニアと外科手術における予後との関連性が報告されています。本研究は、欧米(オランダ)と日本(岡山大学)との骨格筋量を比較し、サルコペニアが肝胆膵手術後の予後に与える影響を検討することを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

サルコペニアの意義を検討する国際的な比較研究であり、新しい発見や予後の改善につながる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2000年1月1日～2017年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関で肝胆膵手術の治療を受けられた方約2000名、岡山大学病院肝胆膵外科においては治療を受けられた方約1000名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年12月13日

3) 研究方法

2000年1月1日～2017年12月31日の間に当院において肝胆膵外科手術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに筋肉量(CTにて測定)に関する分析を行い、サルコペニアの仕組みについて調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別，既往歴など
- ・ 術前の全身状態，治療内容，血液絵検査データ，術前画像データなど
- ・ 手術関連（手術時間、出血量など）
- ・ 術後経過，病理検査結果、合併症の有無，在院期間、予後など

6) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

エラスムス MC（オランダ、ロッテルダム） 外科

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院肝胆膵外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不便が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 肝・胆・膵外科

氏名：榎田祐三、杭瀬崇

電話：086-235-7257（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7636

<研究組織>

研究代表機関名 エラスムス MC

研究代表責任者 エラスムス MC 外科 教授 J.N.M. IJzermans